



西徳寺だより

5月号

Vol.149

「ただいまです。」

西徳寺の長男、香徳です。

西徳寺若住職

篠田 香徳

京都に七年間居りました。大学に四年と、仏教の専門学校に三年行っており、三月中旬に直方へと帰って来ました。七年前と今とは直方の町も随分と変わりました。新しく知らないお店が出来ていたり、家が増えていたり、サンリブが移転してたりと。では、自分は七年間で変わったのでしょうか？成長したのでしょうか？大学の四年間は、単位を取るのに必死でした。授業に出てノートは取っていたのですが、何を学んだのかと問われれば、分かりません。でも一生の友人や先輩・後輩と出会えました。それが大学での一番の収穫です。

専門学校では、沢山の事を学ばせて頂きました。色々な難しい話を聞かせて頂きました。宇宙語のようでした。内容を理解しているのかと言われると、これまた分かりません。分からなかったですけど、「とにかく、お念仏することだなあ、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏お念仏することだなあ」そのことを沢山教えて頂きました。浄土真宗の教えは南無阿弥陀仏のお念仏が大事なんだ、そんなことを学ばせて頂きました。

令和四(二〇二三)年五月発行 編集発行 篠田 尊徳
 〒八二二〇〇三四 福岡県直方市山部五四〇
 浄土真宗本願寺派 覺音山 西徳寺
 TEL 〇九四九二二〇六三六 HP <https://saitokujiki.net>
 FAX 〇九四九二二〇六六七 MAIL saitoku@oce.on.ne.jp



西徳寺ホームページ
 ホームページ
 ホームページ

そんなことを学んでこの直方に、西徳寺に帰ってきました。帰って来て、直方のお寺さんの集まりや、ご門徒さんとの本堂でのお参りに参加します。すると、お坊さんもご門徒さんも関係なく、皆さんお念仏されてました。口からお念仏が漏れ出ていました。その時に初めて僕は気付かせて頂きました。僕は京都での学生生活で初めて、お念仏の教えに出遇えたと思っていました。しかしそうじゃなかった。この西徳寺の本堂に、訳も分からず座り、ご門徒さんの真似をし、手を合わせ「まんまんちゃん」させてもらっていた、もう既にその時から、お念仏の教えに出遇わせてもらっていました。それは、ご門徒さんの姿を通してでした。初めて学んだ、初めて聞いたと思っていたお念仏に、小さい頃から既に出遇わせてもらっていたのです。それは他でもない、ご門徒さんの姿から学ばせてもらっていたのです。小さかったあの頃から、二十五歳になった今まで沢山お育て頂きました。沢山お育て頂きましたが、まだまだです。どうぞこれからもお育て頂けたら嬉しいです。

最後にご報告ですが、今年の十月に結婚することになりました。十月からはお育て頂く人数が二人になりますが、どうぞよろしくお願致します。



合掌

西徳寺三納骨堂 加入者追悼法要のお知らせ

西徳寺納骨堂光明殿・智慧殿・清浄殿の定期総会について。
コロナ禍で三年間中止していましたが、今年度より加入者追悼法要という形で再開させていただきます。

- ・光明殿追悼法要 五月十六日(火) 十時より
- ・智慧殿追悼法要 五月十七日(水) 十時より
- ・清浄殿追悼法要 五月十八日(木) 十時より

「西徳寺寄席」のご案内

上方落語家 三代目林家菊丸師匠をお招きして「西徳寺寄席」を開催します。

コロナ禍で、人と話すこと、笑うことの喜びを忘れかけていた皆さん、西徳寺寄席で大いに笑いを取り戻しましょう。



・日時 六月十八日(日) 受付 十時

開演 十時三十分

休憩を挟んで正午まで二席

※木戸銭(入場料) 無料

※申込みの必要はありません。どなたでもどうぞ。

「第十二回子ども夏祭り」のご案内

「子どものうちから仏さまのご縁を」との願いで始まった「西徳寺子ども夏祭り」。コロナ禍で三年間中止を余儀なくされましたが、今年から復活いたします。皆での食事はまだ出来ませんが、美味しいお弁当を用意して皆さんの参加をお待ちしております。参加者皆で本堂でお参り、住職から仏さまのお話の後、若住職による「西徳寺テラリンピック」。最後は恒例の「スイカ割り」とたくさんのお菓手に手を突っ込んでの「大つかみ取り大会」。

お寺で夏休みの思い出を作りたい子ども達、どしどし申し込んで下さいね。

○日時 七月十七日(海の日)

午前十時より正午頃まで

○参加対象 小学一年生～中学一年生程度

(参加対象以下の兄弟・姉妹の参加もご遠慮なくどうぞ。)

○参加費 一人五百円(当日持参下さい。)

○申込方法 西徳寺までお電話下さい。

(TEL 〇九四九二二一〇六三六)

○申込締切 七月十日(月)

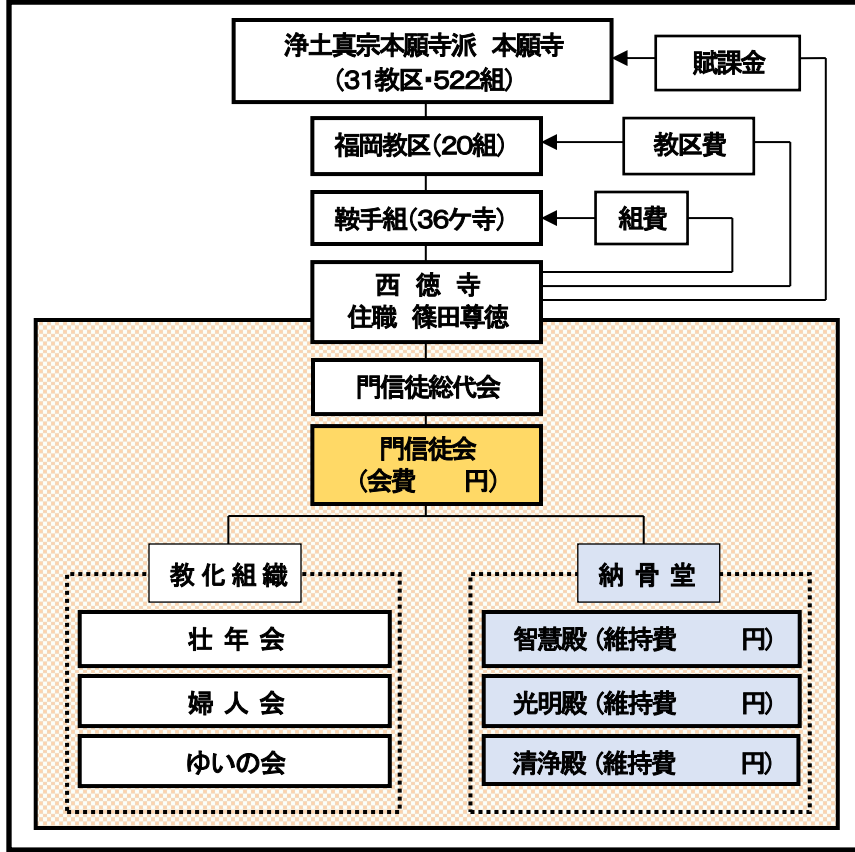
○持参品 ハンカチ

※「お念珠」・「お経本」はお寺にて用意します。



門信徒会費納入のお願い

西徳寺門信徒の皆様にお願ひしております「門信徒会費」、この度その「二〇二二(令和四)年度決算」が四月二十八日の門信徒総代会で承認されましたので、ご報告させて頂きます(別紙参照)。引き続き、二〇二三(令和五)年度分の振込用紙(郵便局用)を同封しておりますので、今年度分 **円** の納入をお願い致します。



尚、西徳寺のご門徒になられて間もない方もいらっしゃいますし、「門信徒会費」と「納骨堂の維持費」との違いについて、時々問い合わせもありますので、改めてそれぞれの会費について説明させていただきます。

◇「門信徒会費」は西徳寺そのものの護持・管理に充てる費用(本願寺派への「賦課金」、福岡教区への「教区費」、鞍手組への「組費」と西徳寺の火災保険を主な支出としています。)で、全ご門徒に対して**年間 円**をお願いしております。
毎年『西徳寺だより』五月号に、前年度分の決算報告書と、当年度分の振込用紙(郵便局用の赤い用紙)を同封して送らせていただいています。

◇「納骨堂の維持費」は各納骨堂の維持・管理に充てる費用で、各納骨堂に加入されている方のみに対して**年間 円**をお願いしています。こちらは先日、各納骨堂加入者にお送りした追悼法要案内にて納入のお願いをしており、郵便局用の青い振込用紙を同封してお送りしております。

上の図にあるように「門信徒会費」と「納骨堂の維持費」はそれぞれ別組織の管理となり、**総会の関係上納入お願いの時期が半月程度ずれますことをご容赦下さい**。出費多端の折、誠に恐縮ですが、ご理解の上、ご協力をお願い致します。

法務員 田中謙太郎さん退職のお知らせ

七年間に亘り西徳寺の法務をお手伝いして頂いた田中謙太郎さんが四月一日をもって退職されました。

次のお寺でも法務精進されることを願っております。

今年のお盆参りについて

①直方市内・市外共に戸別のお盆参りはせず、本堂で合同のお盆参りを基本とさせていただきます。

②ただし、どうしてもご自宅でのお参りを希望される方は、ご連絡頂けましたら七月下旬から八月九日までの間で調整してお宅に伺います。(ご連絡は七月十日までにお願いします。)
既にご連絡頂いている方は連絡不要です。

③初盆のお宅は、例年通り(市外)八月十日～十二日、(市内)八月十三日～十五日の間に一軒ずつお参りさせて頂きます。

④八月十日～二十日まで、月忌参りはお休みさせて頂きます。

絵手紙教室のご案内

「ヘタでいい、ヘタがいい」が合言葉。

皆さんのご参加をお待ちしております。

・講師 直方市感田 油布 紀美子先生

・場所 西徳寺門信徒会館

・会費 五〇〇円を参加した時だけ

・第二百五四回 五月二十六日(金)

・第二百五五回 六月二十三日(金)

午後一時三〇分より

三時三〇分まで

おわりに

長男が直方に帰って来ました。この地で生まれ育つというのは有難いもので、長男を子どもの頃から知っていて下さる方は、長男がお参りに伺うと「香ちゃんが来た」と喜んで迎えて下さるそうです。そんな中に私が伺いますと「あら、住職さん・・・」と残念そうな声と表情。長男を可愛がって頂くのは大変うれしいのですが、まさかこんなにも早く自分の居場所がおびやかされるとは・・・これを繰り返して少しずつ代替わりが進んで行くのは分かっていてもつもりですが、やはり少し寂しいような、まだまだやれるぞと気合が入るような複雑な心境です。

門信徒の皆さん、もういっとき、住職に活躍の場と時間を(完)

